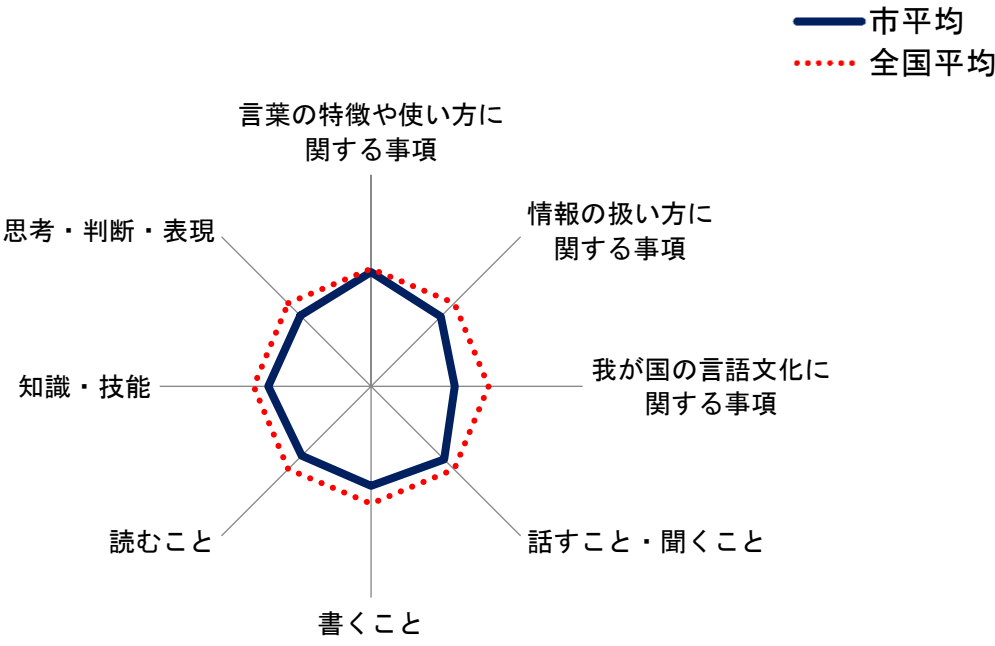
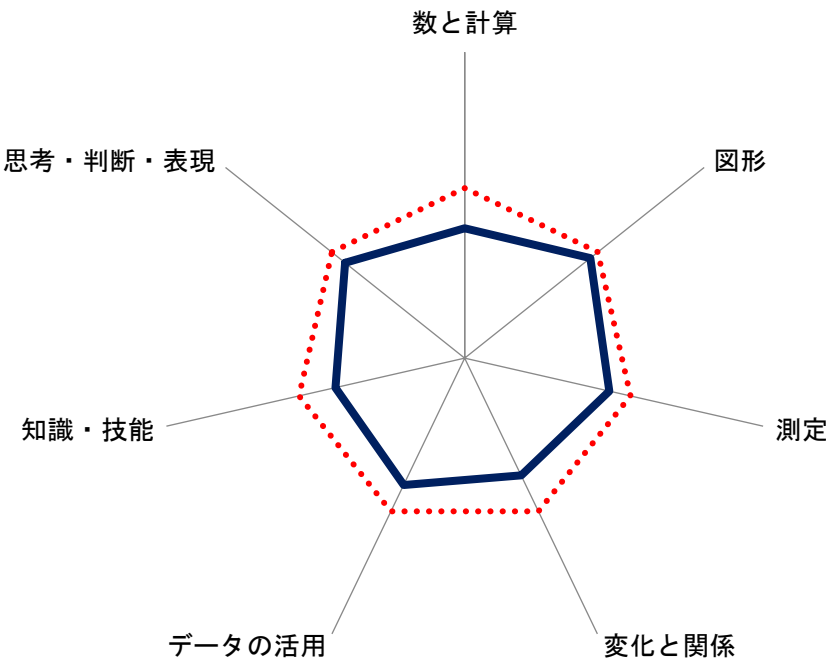


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

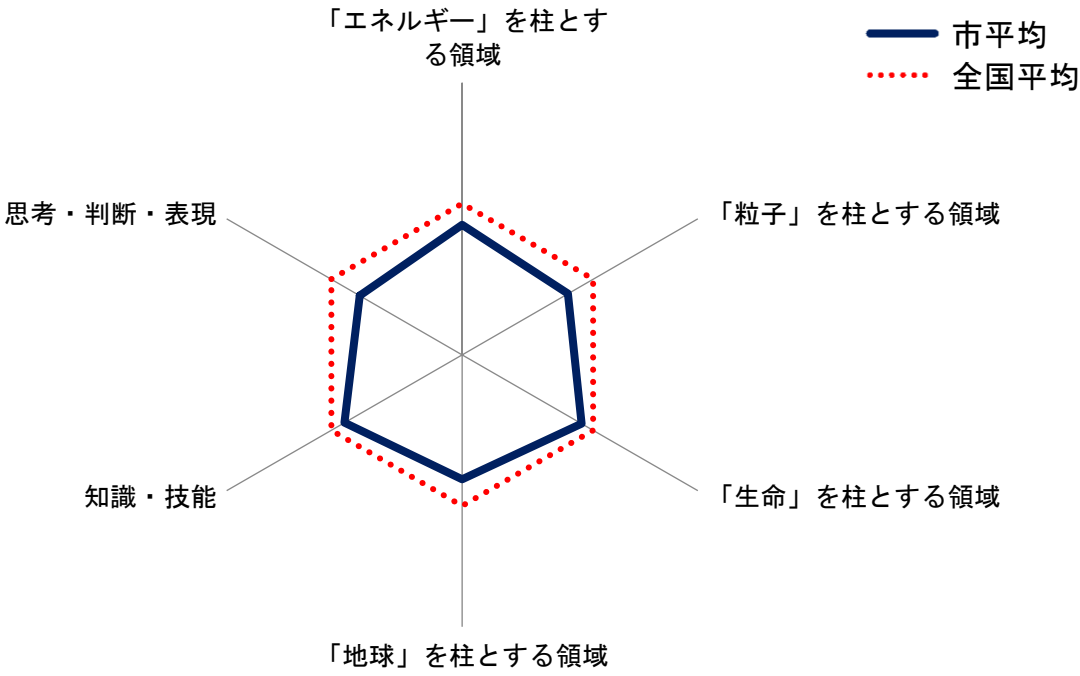


【算数】

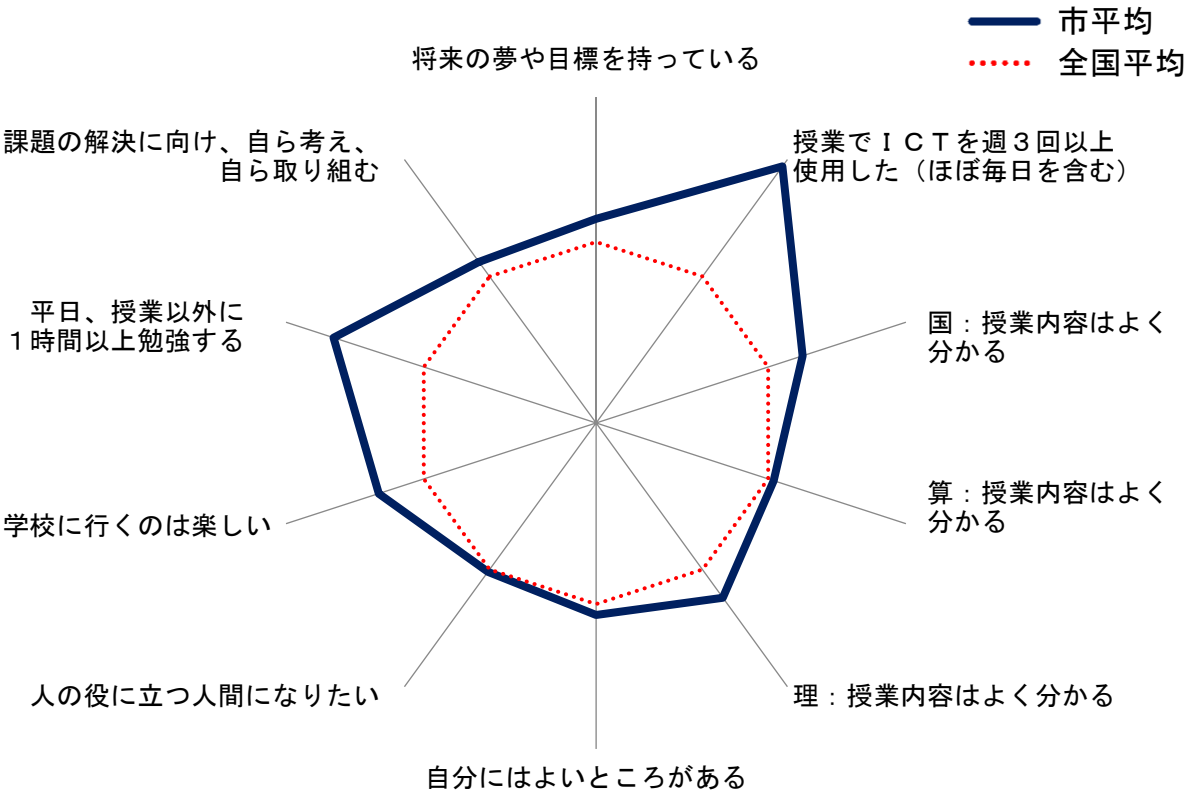


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、昨年度はほとんどの項目が全国平均を上回っていたものの、今年度は全ての項目が全国平均を下回っている。特に、国語の「我が国の言語文化に関する事項」と算数の「数と計算」「変化と関係」の項目が全国平均との差が大きく、算数の「知識・技能」、理科の「思考・判断・表現」の項目にも課題が見られる。今後、児童一人一人の結果を詳細に分析し、課題を明らかにした上で基礎的・基本的な知識及び技能の定着に向けた具体的な対策を講じることが望まれる。

児童質問調査では、全ての項目が全国平均を上回っており、極めて良好な結果である。特に「授業でICTを週3回以上使用した」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「学校に行くのは楽しい」の項目が、昨年度に引き続き全国平均を大きく上回っており、ICTを活用した授業の実践研究や家庭学習の充実を図る取組が推進されている成果がうかがえる。今後も、学力向上につながるICTの効果的な活用を推進するとともに、児童が習得した知識を日常生活と関連付けて理解できる授業づくりに一層取り組んでいくことが望まれる。